

< 報道関係各位 >

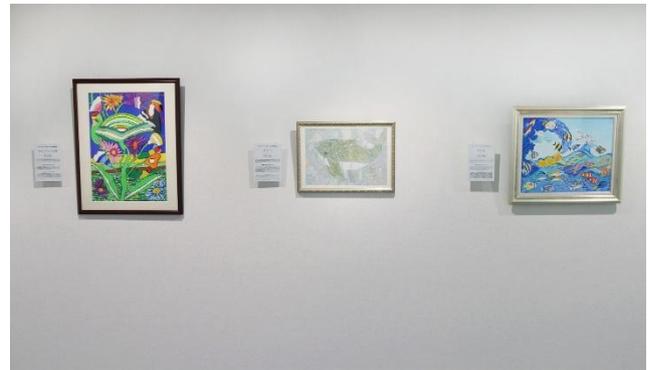
株式会社 **アデランス**

## 「2024 パラアート TOKYO 第 11 回国際交流展」での 「アデランス賞」受賞作品を本社で展示開始

毛髪・美容・健康・医療のウェルネス事業をグローバル展開する株式会社アデランス（本社：東京都品川区、代表取締役社長 鈴木 洋昌）は、本社 11 階受付での「アデランス賞」受賞作品展示を7月8日（火）にリニューアルしました。「2024 パラアート TOKYO 第 11 回国際交流展」（日本チャリティ協会主催）で、「アデランス賞」を授与した作品『チューリップと鳥』（谷口将郎さん作）に加え、『クジラ』（Yui さん作、2021 年受賞）も新たに追加し、現在は『なかま』（大山陽菜さん作、2023 年受賞）を含む 3 作品を展示しています。



日本チャリティ協会 事務局長 高木 真氏（右）から作品を受け取る当社グループ CSR 広報室 室長 新田 香子（左）



展示の様子

「パラアート TOKYO」は、世界中の障がい者に呼びかけて作品を募集する、アートの国際展示イベントです。アートを通じて障がい者の社会参画や国際交流を推進するという、日本チャリティ協会の「パラアート TOKYO」の取り組みに賛同し、2021 年からオフィシャルサポーターとして参加しています。

当社は、2024 年の「パラアート TOKYO」に応募された作品、国内外総数 761 点の中から、『チューリップと鳥』を「アデランス賞」として選出しました。本社の受付に展示することで、ご来社された多くの方にパラアートを身近に感じていただき、パラアートの認知度向上や情報発信の一助になればと考えています。今後、『チューリップと鳥』は、当社が制作する「CSR コミュニケーションレポート」の表紙絵としても採用する予定です。

### 2024 年「アデランス賞」受賞作品

作 品 名：『チューリップと鳥』

作 者：谷口将郎さん



## ■公益財団法人日本チャリティ協会 事務局長 高木 真氏コメント

独自の感性と表現で生き物を自由に描く谷口さんの作品には、観る者を瞬時に引き付ける魅力があります。独特な構図や常識に捉われない配色は本物以上に躍動感があり、生命の力強さを感じずにはられません。アデランス様での展示は、作品価値が社会で認められたことの証として作家に自信をもたらすと共に、多くの方々にパラアーティストの個性豊かな発想力を体感いただける素晴らしい機会になると嬉しく思います。

## ■障がい者アートのコラボレーションについて

当社は、多様な個性に寛容なインクルーシブな社会の実現を目指し、障がい者の皆様の経済的自立、社会参加を目的とした支援を行う障がい者アートの普及活動に賛同した取り組みを行っています。支援の取り組みの第一弾として、2021年に「CSR コミュニケーションレポート」の表紙絵として障がい者アートの作品を活用致しました。2022年からは、「お客様向けノベルティ」や「会社カレンダー」に採用するなど、コラボレーションの幅を広げています。

## ■アデランスの CSR 活動について

アデランスグループの CSR 活動は、「社会的価値を持った活動」をさらに深め、広げていくことで、お客様や社会からの信頼に基づいた、健全で永続的な企業成長を目指すものです。こうした活動を「事業と一体化した価値共創型 CSR」として進めています。



## ■アデランスの SDGs に対する取り組み

アデランスグループは、グローバルに事業を展開する企業として、SDGs で掲げられる、世界が直面するさまざまな課題と真摯に向き合い、事業を通じた社会課題の解決を図ることで、持続可能な社会の実現に寄与し、持続的な成長を目指していきます。



株式会社アデランスは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。